

第11回岡山県森林インストラクター会自然観察会実施報告書

開催日時 2021年10月24日(日) 10時～15時
フィールド 伯州山(岡山県鏡野町上齋原赤和瀬地区)
集合場所 赤和瀬老人憩の家(旧赤和瀬分校跡) 駐車場
主催 岡山県森林インストラクター会
後援 岡山県、鏡野町、NPO法人フォレストフォーピープル岡山

第11回自然観察会の概要を報告します。

参加者は、一般参加41名、会員(実行委員・役員含む)10名でした。

北風の吹きやすい気圧配置が続いていたため、標高の高い伯州山近辺の天気の状態を心配していましたが、当日は晴天で絶好の登山日和に恵まれました。

9時過ぎから参加者が集合しはじめましたので、順次受付を開始しました。今回の登山ルートは、高清水トレイルの一端に当たるため、集合場所を人形峠駐車場や赤和瀬駐車場に勘違いした方もおられました。一般参加者にとっては初めての場所になるので、駐車場のわかりやすい図やカーナビでの指定方法(場所)などをチラシに示しておく必要性を感じました。

開会式は、梶原会長のあいさつ・諸注意等を終え、準備体操の後、4班に分かれて出発しました。



当初計画では、赤和瀬老人憩の家から滝谷コース、伯州山山頂、本谷コースの周回を予定していましたが、下見の段階で説明時間を入れると、終了予定時間内にゴールするのが難しいとの判断となり、本谷コースを除き、伯州山山頂へのピストンコースに変更しました。

10時過ぎに出発し、晩秋の青空の下気持ちの良い散策となりました。

<登山前のストレッチ体操>

観察会では、樹種については県北の冷温帯の主要樹種(15種)を中心に説明しました。また、事前の下見で確認した樹木や草花も紹介しました。

この地域では、ブナ、ミズナラに加えサワグルミ、ハクウンボク等冷温帯を代表する木々が多数見られ、植生を見るには楽しい地域です。

ただ、観察会の時期が秋になるため、それぞれの特徴が見られる春などの時期に、再度見学に来られるよう参加者にはお勧めしておきました。

また、赤和瀬地域の歴史や地理の話として、木地師の歴史、花崗岩帯における真砂土やその特徴、私たちの生活との関わりなどについても紹介しました。

昨年同様、マスクをしての行動のため、説明者、参加者ともに息切れしないように気を使いながらの登山となりました。標高差が300m程度で、登山だけなら1.5時間の行程ですが、コースの後半ほど斜度がきつくなるため、高齢者の体力を心配し、何度か休みながらの登山となりました。

所々で説明しながらの山行になるため、通常の登山時間の倍の3時間ほどで登頂できました。

天気が良く気温も安定していたため、頂上で昼食を取りリフレッシュした後下山しました。下りは1時間程度でした。



少し時間の余裕ができた班は、本谷コースの後半部分にあるツリガネツツジ、トキワイカリソウなども見学しました。

いろいろなところで、自然観察会などが行われていますが、主役は季節の草花のようです。チラシを渡した時に登山や草花は興味があるが、樹木には興味がないとの意見もいただきました。森林インストラクター主催の観察会は、私たちの生活と深いかわりのある樹木にも興味を持っていただくよう、これからもがんばりたいと思います。

15時までに予定通り皆さん無事に出発地点に到着し、終了の挨拶の後解散しました。

岡山県森林インストラクター会参加者

実行委員会 委員長 立石智宣

委員 安東孝師、斉藤秀哉、松田友広、宮畑修治、横林英記（五十音順）

会長 梶原利廣

役員 中島嘉彦、諏訪岳憲、高橋謙治

(20211030 報告者：立石)